

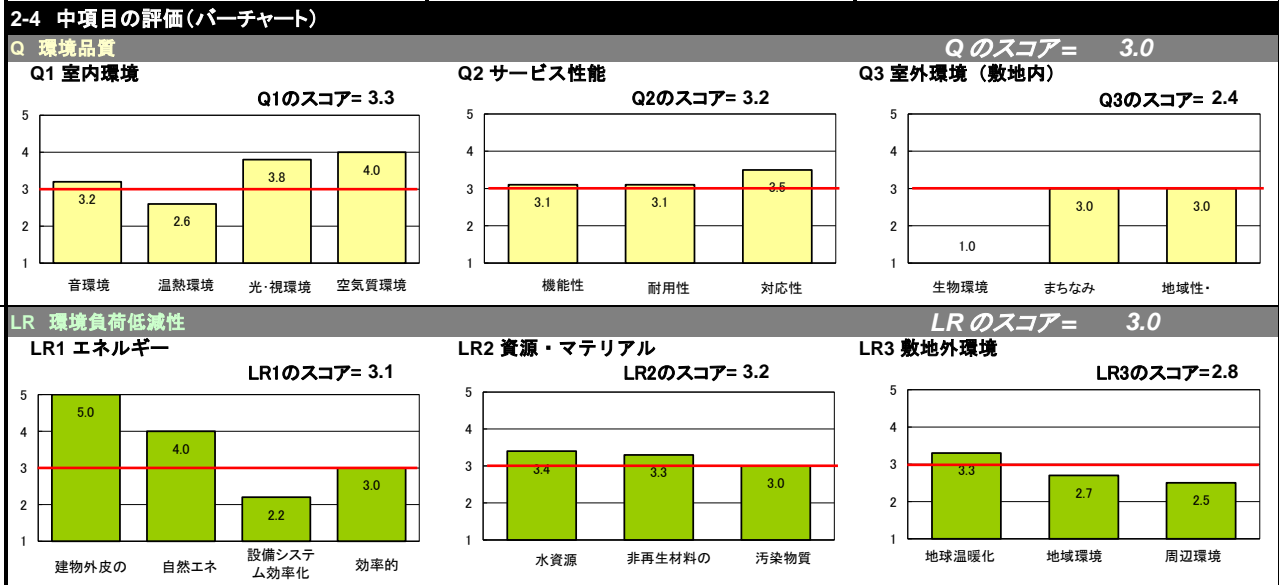
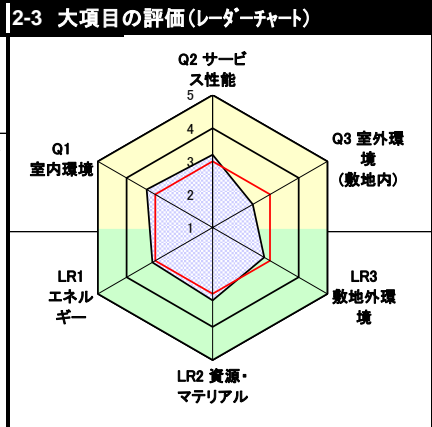
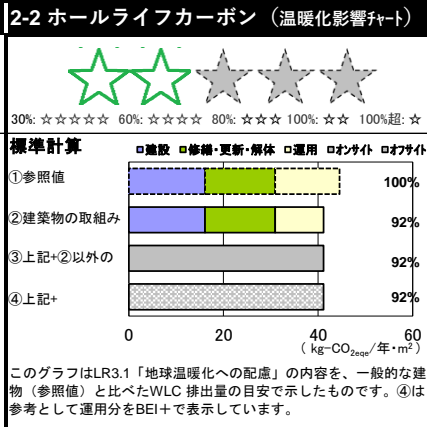
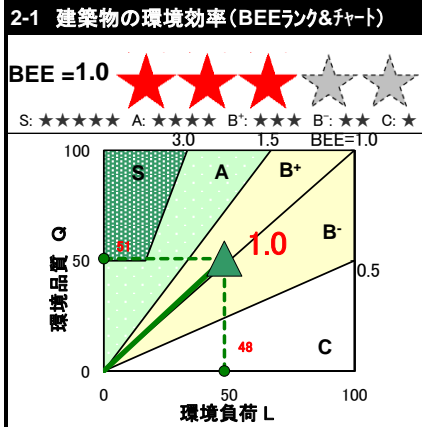
CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2024年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2024_v1.1

1-1 建物概要	
建物名称	加東市滝野地域小中一貫校建設工
建設地	兵庫県加東市
用途地域	指定なし
地域区分	5地域
建物用途	学校
竣工年	2028年3月 予定
敷地面積	50,609 m ²
建築面積	4,965 m ²
延床面積	12,123 m ²

階数	地上4F
構造	RC造、一部S/SRC造
平均居住人員	1,182 人
年間使用時間	2,000 時間/年(想定値)
評価の段階	実施設計段階評価
評価の実施日	2025年4月30日
作成者	東畑建築事務所 森下春香
確認日	2025年4月30日
確認者	東畑建築事務所 松田一



3 設計上の配慮事項	
総合 小学校と中学校の垣根を越えた系統性・連続性のある教育活動を行うことで、ふるさとを愛し、自らの夢に挑む自立した子どもたちを育成を目指している。より良い環境を創出するため教育効果及び安全面を考慮した施設一体型校舎の小中一貫校整備を行っている。	その他
Q1 室内環境 各室の間仕切壁は原則スラブ底迄とし、室内の遮音性を高めた。自然採光を確保し明るく快適な室内環境を目指した。各室照明は明るさのばらつきのない適切な計画とし、十分な照度確保も出来る計画とする。	Q2 サービス性能 ユニバーサルデザインの視点に立ち、誰でもが気軽に利用できる利便性と安全性を兼ね備えた施設とする。キュービクルや通信・情報の主要機器は2階以上の浸水高さよりも高い位置に計画することで洪水などの災害に配慮した計画
LR1 エネルギー 断熱材やLow-Eガラスにより、建物の熱負荷低減を図っている。建物全体の照明はLED照明とし、トイレや廊下等は人感センサーを用いて照明の消し忘れ等を防ぐことで消費電力の省エネルギー化を図っている。	LR2 資源・マテリアル 自動水洗・省水型機器の利用により限られた資源を有効に使用するよう計画を行っている。
	Q3 室外環境(敷地内) 隣接する地域施設や学童保育施設と兼用できる駐車場計画を行っている。また、余裕を持った駐車台数の確保を行っている。周辺に配慮し、建物の平面や壁面形状の工夫により圧迫感を低減させ、まちなみに合わせたスケールとして
	LR3 敷地外環境 日影・騒音・振動等法的規制内容を遵守する。外構の照明は周辺への光の漏れを出来る限り抑えた器具選定と配置計画とすることで、隣地への光害の抑制を図っている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ホールライフカーボン(WLC)」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の温室効果ガス排出量のこと。ここでは、建築物の寿命年数で除した年間温室効果ガス排出量で表示。
 ■評価対象のWLC排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される